BBS GROUP NEWS

VOL.62 JANUARY 2022

お客様とBBSをつなぐコミュニケーションツール

CONTENTS

Page 2 ── 新オフィスに移転しました
Page 4 ── BBSフォーラム2021 ～DXに必要なデータ活用と組織改革～
Page 6 ── BBSと親子で学ぼう ～ネットリテラシーって何？～
Page 7 ── 第3回 BBS絵画コンクール 受賞作品発表
Back cover ─ 導入事例のご紹介

新オフィスに移転しました。

12月13日から日比谷フォートタワーにて営業開始しました

去る2021年12月、旧本社オフィスから徒歩２分の場所にある日比谷フォートタワーの15・16階に移転しました。ニューノーマルな時代に合わせてテレワークを前提とした働き方を導入したことにより、作業場として機能していたオフィスを新たにイノベーションスペースと位置付けました。新オフィスでは「歴史と近未来を融合した、持続可能な世界に貢献する」を基本コンセプトとして掲げ、３つのブランディングイメージを策定。歴史や近未来の融合や高級感を表現した内装デザインに加え、BBSのサステナビリティな経営を意識し、カーボンオフセットのオフィス家具を採用しました。今後、さらなる事業の発展と従業員の満足度を向上させてまいります。

ご挨拶

サステナビリティ経営を行う、お客様の「総合バックオフィスサポーター」になるために。

BBSは今期から新しい中期経営計画である「BBS2023 −Make Hybrid Innovations−」をスタートさせ、2030年に売上高1,000億円企業となるといった目標を掲げ、さまざまな取り組みを行っています。

この度、昨今のテレワーク時代の到来や、2050年度のBBSグループにおける温室効果ガスの排出量ネットゼロを目指すといった観点などから、日比谷セントラルビルから隣の日比谷フォートタワーに本社を移転します。現在の面積から30％削減し、テレワークやオフィスでの勤務など、ハイブリッド環境を実現しながら、企業としての成長を図ってまいります。

今後とも格別のご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長　小宮 一浩

CONCEPT

01

50年を超える
歴史と近未来の
融合

02

経営会計を支える
企業としての
品格

03

持続可能な
社会への
貢献

A 太陽に合わせて自動で開閉する電動ブラインドや、冷房負荷を軽減するLow-Eガラス、ペットボトル自動回収機など環境に配慮した設備が揃う最新鋭のオフィスビル。
B コンセプト1の「50年を越える歴史と近未来の融合」を木材と光、デジタル機器で表現したエントランスホール。
C 従業員アンケートで要望が多かった設備拡充を実行。 すべての会議室に50インチ以上のモニターとWeb会議用カメラ付きマイクスピーカーを設置しました。
D 来社時、寛いでお待ちいただくための広い待合スペースを用意しました。
E 企業としての品格と高級感を漂わせる内装を意識した受付、会議室エリア。

NEWS

新子会社「株式会社ジョイワークス」のご紹介

2021年8月に参画しました株式会社ジョイワークス高蓋と申します。 弊社は2011年3月に設立、幅広くIT事業を展開して今期で11期目を迎えました。 デジタル技術の急速な進歩で、これまで以上にスピーディにDX化を進める事が経営課題のひとつとなっています。 弊社のVISIONである『はたらくを、たのしく、おもしろく。 そして、はたらく人々を幸せに』を常に共有しながら、BBSグループのITソリューション事業の一翼を担う企業グループとして、お客様の発展の為にともに歩み、新しい価値を創り出す企業を目指してまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

DATA

株式会社ジョイワークス

所在地 東京都渋谷区道玄坂一丁目18番３号
代表者名 代表取締役社長　高蓋和秀
事業内容 ITコンサルティング、Web・スマートフォンアプリ開発、Web制作、インフラ構築、ITサポート、研修
資本金 30百万円
従業員数 70人
設立年月日 2011年３月３日

BBS FORUM 2021

株式会社ビジネスブレイン太田昭和（BBS）主催
BBSフォーラム2021 ～DXに必要なデータ活用と組織改革～

昨年11月30日に弊社主催のオンラインセミナー「BBSフォーラム2021～DXに必要なデータ活用と組織改革」が開催されました。BBSフォーラムは、日頃お世話になっているお客様に感謝をお伝えする場として毎年開催しています。DX（デジタルトランスフォーメーション）の必要性が高まる昨今、多くのお客様が変革や変化を求められています。データが新たな経営資源ともいわれ、その活用が企業存続の鍵を握るといっても過言ではありません。本講演ではDXを成功させる秘訣をさまざまな視点から考察し、業務に活かせるようなヒントを皆様にお届けしました。アーンスト・アンド・ヤングの菊井様には日本だけでなくアジア圏に視野を広げ、昨今のリスク管理と今後の経営のヒントを、株式会社三越伊勢丹の北川様からは百貨店におけるDXの取り組みについてお話いただきました。特別ゲストには東京ヤクルトスワローズで活躍された宮本慎也様をお招きし、野球におけるデータ活用やキャプテンシーなど幅広くお話を伺いました。開演に先駆け、小宮社長は「DXが叫ばれるようになって久しいものの、いまだ多くのお客様が変革や変化にご苦労されているのではないでしょうか。本講演がイノベーションのヒントになれば幸いです」と挨拶しました。今回の講演プログラムの一部は弊社HP上でオンデマンド配信しています。講演の再視聴と講演資料のダウンロードができますので、ご参加できなかったお客様も、この機会にぜひご視聴ください。

EVENT REPORT

オンライン講演の様子を
抜粋してお届けします

開会の挨拶をする
小宮社長

アーンスト・アンド・ヤング 菊井氏。 急成長するアジア圏で事業を行うにあたり懸念される３つのリスクについて講演いただきました。

株式会社三越伊勢丹の北川氏。 中長期戦略をもとに三越伊勢丹グループが取り組むDXについて講演いただきました。

閉会の挨拶は取締役 専務執行役員の井上典久より。登壇された皆様の密度の濃い講演とご参加いただいた皆様に感謝の意を表して締め括りました。

SPEAKERS

菊井 隆正 氏

アーンスト・アンド・ヤング
グローバル統括責任者
ジャパンビジネスサービス

萩原 健太 氏

株式会社ビジネスブレイン太田昭和
社長室 室長

北川 竜也 氏

株式会社三越伊勢丹
MD統括部オンラインクリエイティブ
グループ
EC運営部長

宮本 慎也 氏

元東京ヤクルトスワローズ

PROGRAM 講演内容

01 不正・会計・税務、3つのテーマから見るアジア経営上のリスク管理と本社対応における考察

経営はさまざまなリスクと向き合いながら続けねばなりません。 成長目覚ましいアジア圏へと視野を広げる企業にとって、欧米と比べて違いの多いビジネス環境においてどのようなリスク管理を行う必要があるのでしょうか。 不正と会計、税務という３つの経営上のリスクから統計データを用いたわかりやすいスライドに加え、具体的な事例をもとに対応策について考えていきます。

02 「経営会計」のDXとサステナビリティの実現

「経営会計」とは辞書にその定義が載っている言葉ではありません。 経営と会計の一体化を目指すBBSが独自の考え方として掲げているフレーズです。 事業の維持とさらなる成長のためには、さまざまなデータを収集しどのように活かしていくかが重要です。 創業以来お客様の事業を支えてきたBBSが考えるDX推進のためのヒントや、新たに企業が取り組むべきサステナビリティ・トランスフォーメーションの実現についてわかりやすく解説します。

03 三越伊勢丹のDXの考え方と実際の取組み

緊急事態宣言により、人々の外出が激減。 三越伊勢丹の中核となる百貨店業は、２カ月もの店舗休業によって来店顧客数が大幅に減少するとともに周辺事業もあおりを受け、前年を大きく下回りました。 しかし、巣篭もり需要によるECの大幅な伸びや、顧客の消費傾向の変化など新たな小売業時代の到来を予感させる変化もありました。「デジタルツールの導入がデジタル化では決してない」と考え、築いてきた価値をベースにした新たなビジネスモデルの投入など、三越伊勢丹ならではのDX事例について具体例を交えながら紹介します。

04 特別インタビュー：野球におけるデータ活用や人財育成

特別講演として、東京ヤクルトスワローズで活躍された宮本慎也氏からデータを使った人財育成や、リーダーシップをそれぞれの視点でご考察いただきました。 宮本氏は、データは収集するだけでは意味がなく、データをどのようにマネージメントに繋げるかが重要だと話します。野村克也氏が提唱した「ID野球」に取り組まれ、実践してきた野球データの活用方法や、指導者の対応力など幅広くお話を伺いました。

講演内容はWebサイトで詳細をご覧いただけます。 右のQRコードからご覧ください。

BBSと親子で学ぼう

萩原 健太先生
（株式会社ビジネスブレイン太田昭和 社長室 室長）

ITリテラシーって何？

みなさんは毎日パソコンやスマートフォン、インターネットを使って勉強や宿題をしたり、ゲームで遊んだりするのではないでしょうか。くらしにとても便利なものですが、上手に使うためには「ITリテラシー」を高めることが大切です。今回はITリテラシーについて一緒に考えてみましょう。

そもそも「ITリテラシー」とは何ですか？

ITとはInformation Technology（情報技術）のことです。ITリテラシーとは、パソコンやスマートフォン、インターネットやSNS*などを使うときに必要な、使い方を知っている力、仕組みをわかっている力などのことをいいます。このような力をよくわかっている人のことを「ITリテラシーが高い（よく知っている）人」といいます。パソコンやスマートフォンなどの機器や、インターネット・アプリなどさまざまなサービスを他人にいじわるをすることなく、上手に使いこなしている人のことです。

ソーシャルネットワークサービスのことで、登録した人同士で情報交換ができるサービスです。

ITリテラシーが低いと、どうなってしまうのですか？

人に話してはいけないことを、スマートフォンやインターネットを使って書いてしまったり、人がイヤな思いをする、または悪い人と同じで警察に捕まってしまうような（画像などの）情報をあげてしまったりしてしまいます。

え、警察に捕まってしまうの？

たとえば、アプリや写真、動画は作った人のもの（権利）です。みなさんも自分が作った（持っている）ものがほかの人に勝手に使われたらイヤですよね？ そのため、国がルール（法律）を作ってイヤな思いをしないようにしているのです。

でも、ルールがよくわからないよ。

みなさんもこのITリテラシーを、より高くもっていないといけません。そのためには、まずお父さんやお母さん、お兄さんやお姉さん、もし聞けるようなら学校の先生など自分より大きい人に聞いてみましょう。

POINT

もっと詳しく知りたいときには、国や企業が作っているITリテラシーを学ぶことができる教科書のようなものや、ウェブページがたくさんあります。検索サイトで「ITリテラシー」と入力して、出てきたページを色々見てみましょう（ただし、インターネット上にはウソもたくさんあるので気をつけてくださいね！）。

第3回 | BBS絵画コンクール 受賞作品発表

作品テーマ 「タイムマシンでどこに行く?」

子どもたちの想像力や表現力を育むことを目的に開催しているBBS絵画コンクール。応募作品はBBS社員をはじめ小宮社長も選考に参加し、次の３点が受賞作品に決定しました。今回も全国からたくさんのご応募ありがとうございました。

最優秀賞

高橋 心さん（兵庫県）

『うちゅうにいっておほしとり』

じぶんでつくったタイムマシンでみらいにいって、うちゅうにあるいっぱいのほしあつめをしてたのしくあそぶ。

優秀賞

沖田 篤志さん（広島県）

『ぼくが生まれた日』

ぼくが生まれた時のようすを見たかったからです。

佳作

大串 雪花さん（北海道）

『安全第一！大興奮のピラミッド建設』

私が大好きな古代エジプトに行って、謎だらけのピラミッド建設を見学したいです。きっと、かっこいいファラオが優しく案内してくれると思います。そして、ピラミッドの建設を実際に体験させてもらいたいです。ピラミッドの質感と、ファラオの服を丁寧に描くことを頑張りました。

受賞作品の詳細はWebサイトでもご覧いただけます

第3回の受賞作品詳細は、2022年1月にBBSのWebサイトで公開予定です。下のQRコードからご覧いただけます。

BBS GROUP NEWS

導入事例のご紹介

弊社のソリューションをご活用いただいているお客様の導入事例をダイジェストでご紹介します。
各事例の詳細はWebサイトでご覧いただけます(右のQRコードからご覧ください)。

CASE 01 // 東京建物株式会社 様

システム導入支援

紙書類が不可欠の不動産業界でAI-OCRによるデジタル化・業務効率化を実現

日本で最も長い歴史を誇る総合不動産会社の東京建物株式会社様。書類のデジタル化など業務効率化のため「DX Suite」を導入。BBSはトライアルプログラムの提供、人材育成など多方面で支援し、DX推進に貢献しています。

CASE 02 // 全研本社株式会社 様

IPO支援

マザーズ上場に向けた会計・内部統制領域の業務プロセス整備と定着化支援

IT、語学、不動産の3セグメントでビジネス拡大中の全研本社株式会社様。2018年から支援を開始し、2021年6月16日のマザーズ上場に貢献。同社の社内の管理体制強化や、業務・資本提携など継続的にサポートしています。

CASE 03 // Sansan株式会社 様

人事給与アウトソーシング

高品質なBPOサービスで給与計算と社会保険に関わる業務の効率化に貢献

紙の情報をデジタル化するクラウドサービスを展開中のSansan株式会社様。社員の増加にともなって給与計算や社会保険の手続きに課題を感じ、委託先をBBSに変更。業務負荷の軽減や事業拡大に向けた体制強化にもつながりました。

Together for Value
BBS 株式会社ビジネスブレイン太田昭和

発行：BBS GROUP NEWS 編集室　〒105-0003　東京都港区西新橋1-1-1 日比谷フォートタワー 15F
TEL：03-3507-1300　FAX：03-3507-1301　HP：https://www.bbs.co.jp/
本誌に対するご意見・ご要望を編集室までお寄せください。